

# Link

KOMAZAWA  
UNIVERSITY

Vol.4  
2014.5



新しいステージへ  
チャレンジKOMAZAWA

**藤田敦史**

富士通陸上競技部コーチ

文学部社会科学科社会学専攻 坪井ゼミ  
「生きている図書館」プロジェクト

スポーツフェスティバル実行委員会

グローバル・メディア・スタディーズ学部有志

[KOMAZAWA特別セッション]

**平賀マリカ**

ジャズボーカリスト VS

**大澤蒼志幸**

歌手・作曲家・音楽プロデューサー

[名誉教授に聞く]

**西修** 名誉教授



C O N T E N T S

- 2 [特集]  
**新しいステージへ  
チャレンジKOMAZAWA**
- 3 「23年間の競技人生を糧に、新たな道へ」  
**藤田敦史**  
富士通陸上競技部コーチ
- 6 「マイノリティの方々と対話を通じて、  
ココロのバリアを溶かす」  
文学部社会科学科社会学専攻 坪井ゼミ  
**「生きている図書館」プロジェクト**
- 8 「スポーツの魅力を次の世代に伝えたい」  
小・中・高校生などを対象とした“スポーツ教室”・“活動見学会”  
**スポーツフェスティバル実行委員会**
- 9 「ゲーム感覚で横浜の観光情報を得られる  
ウェブサイトをリリース！」  
**グローバル・メディア・スタディーズ学部有志**
- 10 [グローバルKOMAZAWA]  
**国際交流・海外研修・留学支援  
駒澤の取り組みに注目！  
世界に広がる日本発の禅**
- 12 [名誉教授に聞く]  
世界の憲法比較から見た日本国憲法  
**西修** 名誉教授
- 13 [KOMAZAWA特別セッション]  
**平賀マリカ** VS **大澤誉志幸**  
ジャズボーカリスト  
歌手・作曲家・音楽プロデューサー
- 16 [研究レポート]  
**経営学部 若山大樹** 准教授  
「消費者の購買行動や感性を科学的視点から読む」  
**総合教育研究部 坂野井和代** 准教授  
「100キロ先の大気を追って地球規模の環境変動を探る」
- 18 [駒大NEWS]  
2013年～14年 **Best 20**
- 20 **駒澤大学の就職力** ～キャリアセンターの取り組み～  
2013年度就職データ
- 22 [学長メッセージ]  
**廣瀬良弘** 学長  
「行学一如」の精神でアクティブな学の実践をめざす

「挑戦を続けた人だけが、  
チャンスをもものにできる」

新しいステージへ  
**チャレンジ**  
KOMAZAWA

1882年に開校してから130余年  
さらに駒沢への移転から100年を経て、2014年度は  
新たな世紀へと踏み出す駒澤大学。  
21世紀にふさわしい大学として、伝統を未来に繋げる  
新たなチャレンジが求められている。  
今号のLINKでは、新たなステージへの飛躍をめざして  
挑戦を続けるOBと学生たちの姿を追った。

23年間の競技人生を糧に、新たな道へ

**藤田敦史**

富士通陸上競技部 長距離コーチ

将来の夢はサラリーマン  
運動嫌いの現実派の子ども

2013年4月の長野マラソンを最後に現  
役を引退し、現在は富士通陸上競技部の長  
距離コーチとして選手の指導にあたっている  
藤田は、古巣である駒澤大学にも週に一度通  
い、練習を見ている。

「正式なコーチではありませんが、駒澤の  
OBですし、後輩たちに強くなってもらいた  
い。そこで去年の春から大八木監督のもとで  
お手伝いをしています」

いかにして自分を超える選手を育てる  
か、新たな挑戦に情熱を燃やしている藤田  
が、初めて長距離を走ったのは中学2年の  
ときだった。

「実は小さいころは運動が大嫌いだったん  
ですよ。スポーツ選手をめざそうなんて夢に  
も思わなくて、勉強したい高校に入って、  
いい大学を出ていい会社に入るというのが

日本マラソン史上2時間6分台の記録を  
持つランナーは3人しかいない。その一人が  
駒澤大学OBで現在は富士通陸上競技部  
コーチの藤田敦史。

藤田は駒澤大学時代4年連続で箱根駅伝  
に出場。富士通入社後は世界レベルの選手  
に成長するも、その後はケガに悩まされ、昨  
年4月、現役を引退。今は指導者として第二  
の人生を歩んでいる。その藤田が若い後輩  
たちに贈るのは次の言葉だ。

「何でもいい、人生に夢や目標を持ってほし  
い。夢や目標を強く持ち続けることが、日々  
の努力を生み、成功のチャンスをつかむこと  
に繋がる」  
(文中、敬称略)





© Agence SHOT



大八木監督からは今も教わるものが多い

目標で、小学校の卒業文集に将来の夢は「サ  
ラリーマン」と書いたほどです(笑)。それぐら  
い現実派でした」

それがなぜ陸上競技、それも長距離に開  
眼したのか。きっかけは中学2年当時の校  
内マラソン大会だった。

「たしか2kmだったと思いますが、たまたま  
3位に入ったんです。それを見た体育の先生  
から「お前、短距離は遅いけれど、我慢が必  
要な長距離には向いてるんじゃないか」と褒  
められ、ヤル気に火が付きました。中学校に陸  
上部はなく、駅伝シーズンになると各クラス  
の足の速い子を集めてチームをつくるんです  
が、私も代表に選ばれて、郡の駅伝大会に出  
たらいきなり区間賞をとって、ますます長距  
離にはまっぴら御座いました」

しかし進学先の高校の陸上部は、長距離  
はそれほど強くなく、駅伝に関しては東北大  
会とまりで、全国大会には無縁だった。藤田  
はインターハイへの出場経験もなく、全国的  
には無名だった。しかし、駅伝の県大会や東  
北大会で走る藤田に注目した人がいた。

当時、駒澤大学陸上競技部のヘッドコー  
チを務めていた高岡公<sup>たかおか</sup>だ。高岡は駒澤大学卒  
業後、大学職員として勤務のかたわら陸上  
競技部で選手の指導にあたっていた(その後、  
監督、総監督を歴任)。

その高岡に声をかけられ、藤田は駒澤大学  
に入学。その後の競技人生に大きな影響を  
受ける恩師との運命的な出会いをする。

### 指導者と選手の出会い それがすべての始まりだった

今日、駒澤大学陸上競技部を、常勝軍団  
と呼ばれるまでに育て上げたのが、選手たち

「いえ、落とさずにやりたいです」

それでも監督が「いや、やめておけ」と言  
うと、藤田は「やります」と言い返し、とうとう  
言い争いになってしまった。

結局、大八木は藤田の言う通りにさせた  
が、案の定、藤田は脚を痛めてしまった。しか  
し、頑固な藤田は少しも反省しない。さすが  
に大八木は突き放すようにこう言った。

「オレはもうお前の練習を見ないから、自  
分でやれ」

しばらくして冷静になった藤田。謝ろうと  
監督の部屋を訪れた。

「申し訳ありません。監督が言うようにや  
めていけば脚も痛くならなかったでしょうし、  
冷静さに欠けていました」

頭を下げると、大八木はそれには応えず、  
「そこに寝ろ」と指示。そして、藤田の脚を  
マッサージしてくれたのである。

「そのとき、いかに自分が子どもだったかを  
思い知らされました。指導者は選手の何倍も  
の器が必要だと痛感したのです」

さらにその後、大八木から次の言葉をかけ  
られたことが藤田の心に染み付いた。

「あのとき、たしかに生意気だとは思って  
たけど、オレはうれしかったよ」

から、鬼と恐れられ、同時に慕われもしてい  
る大八木弘明監督だ。

大八木は駒澤大学OB。ヤクルトでコー  
チとして辣腕を振るっていたが、母校からの要  
請に応じてコーチに就任したのが藤田の入学  
と同じ95年4月。当時の駒澤大学陸上競技  
部は箱根駅伝の常連校ではあったが、翌年の  
大会のシード権が与えられる9位以内に入  
れば御の字というチームで、優勝を狙うため  
に招聘されたのが大八木だった。

当時の思い出を藤田は語る。

「入学前の3月に合宿があつて、私を誘っ  
てくれた優しい高岡さんが待っていると思っ  
ていたら、ものすごく怖そうな人が立ってい  
るんですよ(笑)。「お前が藤田か」と声をか  
けられたのが初めての出会いでした」

大八木の指導に、藤田は「ものすごく情熱  
を感じた」と振り返る。

「絶対に選手を強くするんだという熱意  
がにじみ出ている方なので、それは選手自身  
も感じるんですよ。たとえば、少しでも気  
が緩んでいたりすると厳しい言葉をかけら  
れますが、私たちとすれば、自分を強くする  
ために言ってくれているというのがよくわか  
るので、監督の厳しい言葉も、真摯に受け入  
れることができました」

### 「やめる」やりますの 対立が育んだ信頼関係

ただし、大八木が「鬼」なら、藤田も1年  
生のころから向こう気が強く、自分の意見を  
はっきり言う学生だった。

こんなことがあった。大八木が「今日は練  
習量を落とすとしてやることにしよう」と指示し  
たところ、藤田は言い返した。

それ以降、藤田に対する大八木の指導は  
変わったという。

「それまでは「明日はこの練習を何分何秒  
でやんなさい」という指導だったのが、「オレ  
は明日のお前の練習はこの距離を何分何秒  
でやろうと思ってる。お前はどうか」と私の  
意見を聞いてくれるようになりました。あつ、  
この人は自分という人間を認めてくれてい  
るんだなと感じ、それまで以上に監督に信頼を  
寄せるようになりました。それからですね、私  
の競技成績が伸びていったのは」

### 途中棄権のラストランで流した すがすがしい涙

藤田は箱根駅伝に連続4回出場。1年生  
で1区を任せられ、区間2位。4年のときは  
4区を走り、区間新記録した。

駒澤大学の成績も、藤田の1年のときこ  
そ12位に終わったが、翌年以降は次第に上位  
に迫るようになり、藤田が3年と4年のと  
きには連続して総合2位に輝き、その後の  
黄金期へと繋がっていった。99年に学生最後の  
レースとして出場したびわ湖毎日マラソンで  
は、初マラソンでありながら、瀬古利彦さんの  
持つ学生記録を20年ぶりに更新した。

フォームなどの技術面ばかりでなく、  
選手の性格や心理にも目配りして  
信頼感を築き上げるのがコーチの役割



社会人となってからは、2000年の福岡  
国際マラソン、02年の東亜マラソン、07年の別  
府大分毎日マラソンで優勝したが、ケガなど  
の不運が重なりオリンピックの出場は果たせ  
なかった。

13年3月、現役引退を表明してラストラ  
ンとなったのが同年4月の長野マラソンだつ  
た。ときならぬ降雪と低温の悪条件のため、  
左ふくらはぎに肉離れを起こして30キロ過  
ぎに途中棄権。しかし、藤田はそこで喜びを  
知った。

「途中棄権したときは、ああ、オレの競技  
人生、こんな形で終わっちゃったよって思った  
のですが、次の瞬間には、でもオレよくこの年  
までがんばったよなという思いに変わりました。  
すると、とてもすがすがしい気持ちになっ  
て、途端に涙があふれてきました。収容車に  
乗せられてゴール地点まで向かったら、富士  
通の監督や現役時代にお世話になった人た  
ちが応援に駆けつけてくれていた。その人た  
ちの顔を見たらもう涙が止まらなくなつて、  
ゴールはできなかつたけれど走る姿を最後に  
見せられたことは、本当に人生の宝だと思  
いましたね」

### 夢を持ち、チャレンジし続ければ きつとチャンスは巡ってくる

富士通陸上競技部のコーチとなつて1年。  
選手を育てることの大変さとともに、その醍  
醐味を感じ始めているという。

「コーチは選手の走りを技術的に見るだけ  
では務まりません。たとえば、練習で走れな  
い選手がいたとしたら、フォームなど走り方  
だけでなく、何か生活上の悩みとか、精神的  
な問題はないのか、そのバックグラウンドまで

目配りしないといけない。選手を一人の人間  
として見て、信頼関係を築き上げなければ。  
責任は重いけれど、選手と一緒に自分も成  
長していけるチャレンジングな仕事です」

ゆくゆくは東京オリンピックに出場できる  
選手を育てたいと新たな目標掲げる藤田  
のメッセージは――。

「私自身がそうでしたが、人間って、人との  
出会いとか、ちよとしたきっかけで変わって  
いくもの。どんな人間も可能性を秘めて生ま  
れてくるんだということを忘れないでほしい。  
そして、何でもいから夢や目標を持って、そ  
の実現のために失敗を恐れずチャレンジして  
ほしい」

失敗はいくらしてもいい、と藤田。たしかに  
何度も失敗が続くと心が折れることもある。  
でも、そこで夢や目標をあきらめれば、チャン  
スも閉ざされてしまう。失敗しても前向きに  
取り組んでいけば、いつかチャンスは必ず巡っ  
てくる。

「だから日々の努力を怠ってはいけないので  
す。いつ来るかわからないそのチャンスを生か  
すために、夢や目標を強く持ち続けて練習  
を続けた人だけが、チャンスをものでできるの  
ですから」

## Fujita Atsushi

藤田敦史・プロフィール  
1976年福島県白河市(旧西白河郡東村)生まれ。  
県立清陵情報高校卒業後、1995年駒澤大学経  
営学部入学。4年連続して箱根駅伝への出場を果  
たす。1999年富士通に入社。1年目の同年8月  
の世界陸上セビリア大会のマラソンで6位入賞。  
2000年12月の福岡国際マラソンでは2時間  
06分51秒の日本最高記録(当時)で優勝。02年  
東亜マラソン、07年別府大分マラソンで優勝。  
13年3月現役引退を表明。同年4月の長野マラ  
ソンがラストラン。現役引退後は富士通陸上競技部  
長距離コーチ。





ヒューマンライブラリー研究会で本集めの苦労を語るゼミ生

前列左から坪井教授、松本健（修士2年）、齋藤結美香（4年）  
後列左から岩井萌子（4年）、近藤弘隆（4年）



# 「生きている図書館」プロジェクト

Human Library Project

## マイノリティの方々との対話を通じて、ココロのバリアを溶かす 文学部 社会学科 社会学専攻 坪井ゼミ

性的マイノリティやホームレスなど日ごろ近づき難いと思っているような人を「本」に見立て、参加者が「読者」となって「本」と語り合い理解を深めるのが「ヒューマンライブラリー（生きている図書館）」。  
文学部社会学科の坪井ゼミでは2010年から4回、ヒューマンライブラリーを開催。  
昨年は他大学などに呼びかけて研修会を開催するなど、普及活動に積極的に取り組んでいる。

「生きている本」と対話し  
新たな気づきを得る

ヒューマンライブラリー（以下、「H.L.」）はもともとデンマークで2000年に始まった。日本では08年に東京大学の教員によって取り組まれ、翌年は明治大学、その翌年に駒澤大学へと広がっていった。

この取り組みで中心的な役割を果たすのがイベント主催者である。図書館でいえば「司書」の役目で、「本」になってくれる人を探し出して、当日来てもらえるよう交渉するとともに、読者となる参加者を集めて「本」と「読者」との対話を実現させる。

「本」になつてもうるのは、性同一性障害、難病患者、難民、ホームレス、薬物依存症など、一般の人が日ごろ近づきにくいと思っていて、間接的にしか知らないようなマイノリティ（社会的少数者）の人たち。「本」になる人1人に対して、「読者」は1〜3人ぐらいで、語り合う時間は1回につき約30分だ。

「こうした人々から直接話を聞き、理解を深める機会がヒューマンライブラリーです。対話することによってそれまで抱いていた、ココロのバリア（固定観念を溶かし、新たな気づきを得てもらおうのがねらいです）」

こう語る坪井健教授によると、H.L.での決まり事はたった一つ。それは「偏見を持っていてもいい、何を聞いてもいい。しかし、「本」

されない」と、私もこの問題を勉強して、直接話を伺ううち、興味を抱かずにはいられなくなりました」  
H.L.を他大学に広げる活動も実りつつある。昨年、明星大学でもH.L.が開催されることになったが、これを推進したのが同大学の卒業生で、現在は大学院生としてゼミに関わっている松本健さんだ。

「研修会に来てくれた明星大学の関係者に、「松本くんが手伝ってくれるなら」と言われたので応援に行き、12月に実現させました。今年も計画が進んでいます」

### 企業の社員研修に取り入れてもらう構想も

司書役を担当したゼミ生たちは、1年間の活動をこのように振り返る。

「マイノリティといわれている人たちと出会えただけでも大きな財産で、私たち自身が成長しました。それは行動したからこそできたことで、一歩踏み出して新しいことにチャレンジすることの大切さを学びました」

今後はどんな展開を考えているのだろうか。「昨年は独自開催にこだわらず、普及活動を推進し、他大学やNPO法人などに呼びかけて一定の成果を得たので、今年は社員研修など企業に働きかけていきたい」と坪井教授。取り組みがますます広がっていくと期待。

「最初は、過去の『本』になつてくださった方の繋がりでアルコール依存回復途上者の団体を訪ねましたが、「自分たちがやっている活動を見てから交渉してほしい」と言われて、リサイクルショップを訪れました。そこで仕事のお手伝いしながら『本』になつてくれる人を探したのですが、いざご本人を目の前にするとなかなか話を切り出せない。結局、8回くらい通い、親しくなったところでやっと交渉して、『本』になつてもうることができました。当日は参加者と30分の対話を2回ずつやっていたのですが、終わったあと「話せてよかったよ。来年も呼んでね」と言われ、とても感動しました」



「本」との対話風景

### 話を聞いて興味が深まりついに卒論のテーマに

4年の岩井萌子さんが担当したのはゲイとレズビアンの性的マイノリティの人。

「あらかじめメールで何度もやりとりしたうえで対面していったので、お会いしたときから初対面とは思えず、「やっと会えましたね」とすぐに打ち解けました。そもそも性的マイノリティの人たちの気持ちがわからないので、気がついたら2、3時間も話をしました。この話し合いが、準備・運営に役立ちました。先生は「司書役をやるにはまず本をよく理解すること」と常々おっしゃっていましたが、まさにその通りだなと思いました」

難民と元無国籍者を担当したことさらに関心を深め、難民問題を卒論のテーマに決めたのが4年の齋藤結美香さん。

「無国籍者の存在がこんなにも身近にある意識がなくて、実際にお会いして映画で見たような人が本にいたんだということに、まずびびりました。知らなかったではすま

坪井 健 教授  
(つばい つよし)  
1972年駒澤大学文学部社会学科卒。78年東洋大学大学院社会学研究科博士課程満期退学。駒澤大学文学部社会学科助手、講師、助教授を経て96年より現職。専門はアジア学生文化の国際比較。





PLAYのトップ画面。

PLAYに関するニュースは  
<http://gmsweb.komazawa-u.ac.jp/?p=816>

## グローバル・メディア・スタディーズ学部有志

グローバル・メディア・スタディーズ学部 (GMS学部) の学生有志が取り組んだのが

横浜・寿地区に外国人旅行者を呼び込むための産学連携プロジェクト。

横浜の観光スポットを英語で紹介するサイトを制作し、ただいま発信中!

横浜・寿地区といえば山谷(東京)、釜ヶ崎(大阪)と並ぶ「ドヤ街」として知られる。この地区の一新を図るため活動しているのがコトラボ合同会社。町おこしなどのソーシャルビジネスを展開する会社で、老朽化した簡易宿泊所(ドヤ)をゲストハウスに改装して国内外の旅行者に安く提供する「ヨコハマホテルビレッジ(YHV)」プロジェクトを展開中だ。

このプロジェクトのパートナーとなっている富士通総研の実践知研究センターから、駒澤大学のGMS学部に「一緒にこのプロジェクトに取り組みませんか」と声がかかり、産学連携のコラボレーションが実現した。

GMS学部には学内外の共同研究を推進する「GMSラボトリ」と呼ばれる活動があり、教員の指導のもと希望する学生が研究員として登録し研究活動を行う。今回もラボのプロジェクト「寿町プロジェクト」として実施することとなった。絹川真哉准教授が代表となり、ラボ主任の吉田尚史准教授と、IT技術が専門の石橋直樹講師が学生指導にあたることとし、研究員を広く募集。所属ゼミも学年も違う15人の学生たちが集まった。

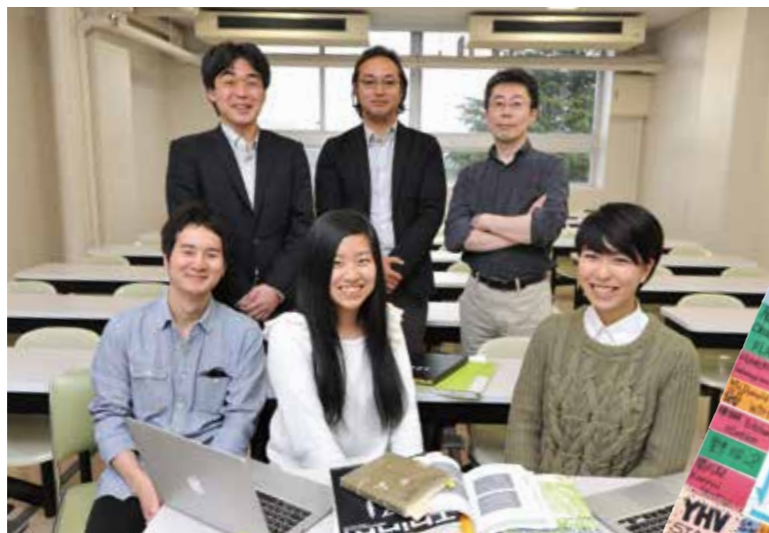
プロジェクトがスタートしたのは2012年8月。英語による寿地区周辺の観光情報サイトを制作し、外国人観光客の利便性を

## ゲーム感覚で横浜の観光情報を得られる ウェブサイトをリリース!

高め、YHVによる町おこしをサポートしようというのがねらいだ。3年のときから参加し、翌13年度プロジェクトリーダーとなった奥貫真知さんは振り返る。

「学生たちで知恵を出し合い、双六のスタイルでゲームを楽しみながら観光情報を得るという方向性はすぐに決まったのですが、どういった技術を盛り込むかなどの議論が続きました。イラストの制作や英語での紹介文作成など完成まで足かけ2年かかりましたが、社会問題を自分たちで分析し、解決の手段として実践でメディアを活用できたことは大きな自信に繋がりましたし、メンバー一人ひとりの財産にもなりました」

こうして完成したサイトは「PLAY」と名付けられ、昨年6月にサービスを開始し、好評を得ている。今後は観光情報をさらに充実させるとともに、他大学と連携してバージョンアップを図っていく方針だ。また今回の町おこしでのWeb活用のノウハウを深め、さらに多くの地域へ水平展開を図りたいと夢が広がっている。



後列左から吉田尚史准教授、石橋直樹講師、絹川真哉准教授、前列左から二星義知(2年)、平賀ゆりあ(3年)、小野江望(修士2年)

グローバル・メディア・スタディーズ学部  
ホームページ  
<http://gmsweb.komazawa-u.ac.jp/>



開発段階で双六のアイデアが出たときのアイデアシート



スポーツの魅力を  
次の世代に伝えたい

玉川グラウンドで。  
左から室町貴大、山之内理奈、佐伯純哉、小貫雄也

## 小・中・高校生などを対象とした“スポーツ教室”・“活動見学会” スポーツフェスティバル 実行委員会

毎年秋に開催される「スポーツフェスティバル」は  
大学スポーツ界のトップをめざす駒澤大学体育会に所属する部員たちが  
小・中・高校生などを対象に行うスポーツ教室、および活動見学会。  
2020年東京オリンピックのメダリストもここから生まれる?

スポーツフェスティバルは2010年度から始まり、昨年10月の開催で4回を数えた。参加者の多くは大学の周辺住民や世田谷区の小・中・高校生とその保護者の方々に、昨年の参加者は200人を超える。

「箱根駅伝などで活躍する陸上競技部や、Jリーグに多数の選手を輩出しているサッカー部をはじめ、体育会に所属する現役アスリートたちが子どもたちを指導したり、活動風景を間近で見学してもらったりと、学生たちが一般の方々や子どもたちと直接触れ合い、交流を深めることを目的に企画しています」と語るのは、スポーツフェスティバル実

「昨年は、事前に申し込んだ1団体のスポーツ教室・活動見学会に参加できなかったが、今年はツアー形式にして、さまざまなスポーツを体験できるように」と、交渉担当副委員長で仏教学部仏教学科4年、射撃部副将の室町貴大さんは語る。

「地域の小中学校に直接出向いての呼びかけも計画しています」と山之内さん。

「参加者の笑顔が何よりも励みになります。2020年の東京オリンピックで活躍する未来のオリンピック選手がここから生まれるよう、体育会一丸となって取り組みます!」メンバーたちの思いは熱い。

行委員会の委員長・佐伯純哉さん。仏教学部禅学科4年で、卓球部の副主将だ。昨年の場合、体育会所属の15団体が参加した。当日、練習や指導に当たる学生や指導者は300人を超え、とくにマンツーマンで丁寧な指導するスポーツ教室が人気だった。「野球部だつたらキャッチボールをしたり、サッカー部はリフティングを指導したり、アチアリーは初めての人が多いので用具の持ち方から教えます」と語る財務担当副委員長の小貫雄也さんは、文学部地理学科4年で柔道部に所属。

広報部長の山之内理奈さんは経営学部市場戦略学科4年でチアリーディング部副主将。

「チアリーディング部は演技を披露したほか、子どもたち向けの体験会を開いて、小さい子を肩車してポンポンを持っているところを写真に撮影し、喜ばれました」

5回目となる今年のスポーツフェスティバルの準備はすでに始まっている。





## 25周年を迎えた クイーンズランド大学 来日プログラム

駒澤大学では、現在9つの国と地域の13の大学と協定を結び、短期語学セミナーや交換留学などの国際交流を推進しています。

このうち、最も交流の歴史が長い協定校が、オーストラリアのクイーンズランド大学です。協定締結は1984年で、5年後の89年には、同大学日本語学科の学生が日本語や日本文化を学ぶ「クイーンズランド大学来日プログラム (KOMSTUDY)」がスタート。留学生を受け入れてくださる近隣の家庭の協力もあり、2013年に25周年を迎えました。KOMSTUDYを通じて迎え入れた学生は25年間で456人、また受け入れボランティアとして携わった駒大生は630人を超え、両校の結びつきは年々強固なものとなっています。



学生も日本文化を留学生に紹介するボランティアとして活躍

KOMSTUDY 25周年記念パーティー  
(2013年11月26日)



## 年に一度の 海外研修・留学フェア で、意識付け

最近の学生は「内向き」と言われますが、グローバルに活躍するための目的意識を醸成するために、本学で年に一回開催しているのが「海外研修・留学フェア」です。

留学に関するガイダンスや外国語の担当教員による語学学習相談、留学に必要な英語力診断テスト、海外ボランティアや、留学と就職についての質問コーナーのほか、協定校からの交換留学生と交流の場を設け、留学について具体的に考えてもらう機会となっています。



2013年度はカナダ大使館広報部による英語のガイダンスとカナダ留学の相談コーナーも登場

# 国際交流・海外研修・留学支援 駒澤の取り組みに注目!

グローバル人材の育成が叫ばれるいま  
駒澤大学の語学力向上や異文化体験  
国際交流や留学支援などの取り組みの現状は?



## 英語力向上を図る 課外講座が さらに充実!

海外留学にあたっては、TOEFL<sup>®</sup>などで一定以上のスコアを獲得することが不可欠です。そこで、得点力アップをめざして、1クラス20人程度の少人数の課外対策講座を前期と後期にそれぞれ開講しています。

2014年度はさらに本学の事業会社 (KUサポート) と連携し、外部講師を招き、「毎日学べる英会話」として英語レッスンを開講しています。

また、TOEIC<sup>®</sup>を割引料金で受けられる「団体特別受験制度 (IPテスト)」も利用が可能になります。

このほか、海外での不測の事態に備えるため、海外留学生安全対策協議会の緊急事故支援システムにも入会し、リスク管理を強化しています。



## スペイン・ アルカラ大学 シスネロス校と協定締結

2013年12月にスペイン・アルカラ大学シスネロス校と協定を締結。これにより、新たにスペイン語圏の大学が国際交流のラインナップに加わり、2014年度より春季のスペイン語セミナーを実施する予定です。



## Global ZEN



## 世界に広がる 日本発の禅

仏教学部 石井清純 教授  
東京都出身。1989年より駒澤大学に着任。助手、講師、助教授を経て2002年より仏教学部教授。2009年～2013年学長。

**禅** (ZEN) が北米やヨーロッパで認知され、広く受容されています。

北米で第1次禅ブームが起きたのが1950年頃のことです。当初は、カウンターカルチャーとして広がりましたが、その後、戦後に日本が急速に発展した背景には禅があったのではないかと、ということに関心を持つ人が増えたとされています。

現在では、ストレス社会からの脱却とか、キリスト教的な価値観に疑問を抱いた人々が興味を持ち、禅を実践しています。一般的にも禅は知的でカッコイイものと捉えられ、一つのステータスとなっています。

禅の強い影響を受けた人に、2011年に亡くなったアメリカ・アップル社の創設者であるスティーブ・ジョブズ氏がいました。「禅との出会いは自分を高めるにあたって極めて重要であった」と、生前のジョブズ氏は語っています。

ヨーロッパでも禅は生活の中にも浸透していて議論が沸騰したようなとき、「ちょっと待って、ZENでいこうよ」と言うようなことがあります。「冷静になる」というわけですね。

同じような意味で、フランスの新幹線TGVにはZEN車両があり、地下鉄にもZENシートがあります。ルノーは車種の1つに「ZEN」という名前をつけました。

禅という漢字は中国読みでは「chan」であり、韓国語では「son」と読みます。それが日本語由来の「Zen」で世界に広まっているのは、禅が日本発のものとして受け入れられているあらわれといえるでしょう。

**グローバル社会に欠かせない  
実践的なコミュニケーション力と  
発信力を身につけるGMS学部**

2006年4月に創設したグローバル・メディア・スタディーズ学部 (GMS学部) では、国際的なビジネスの舞台で通用する英語力と情報発信力を身につけるため、少人数制英語教育をベースに、英語でのディスカッションやプレゼンテーション能力を鍛えるカリキュラムを設けています。また、異文化を体験しながら学ぶ海外演習を取り入れ、海外の大学への長期と短期の留学プログラムを用意しているほか、海外ボランティア活動、海外インターンシップなど教育機関以外での学びも卒業単位として認定する履修システムを導入しています。

留学協定校一覧

地域	国 (地域)	大学名	短期語学セミナー	学生交換協定	
オセアニア	オーストラリア	クイーンズランド大学	○	●	
		グリフィス大学		●	
北米	アメリカ	カリフォルニア州立大学ロサンゼルス校	○ (UCIへ移行)	●	
		カリフォルニア大学・アーバイン校	○		
		アーカンソー工芸大学		●	
カナダ		プリティッシュ・コロンビア大学	○		
ヨーロッパ	イギリス	エクセター大学	○	●	
		フランス	エクス・マルセイユ大学 (旧プロヴァンス大学)	○	●
		スペイン	アルカラ大学・シスネロス校	○	●
アジア	中国	華東師範大学	○	●	
		北京大学大学院		● (大学院のみ)	
		台湾	淡江大学		●
	韓国	東国大校		●	





KOMAZAWA  
♪特別セッション♪

# 平賀マリカ VS 大澤誉志幸

ジャズボーカリスト

歌手・作曲家・音楽プロデューサー

2人のミュージシャンは奇しくも同じ学会(まなびや)にいた。

平賀マリカは、ロマンチックな表現力とハイレベルな歌唱力で

日本のジャズシーンを代表する実力派ボーカリスト。

大澤誉志幸は、歌手としてソロ活動を行う一方、沢田研二、山下久美子、吉川晃司ら

多数のアーティストへの楽曲提供など作曲家、音楽プロデューサーとしても活躍している。

プロデビューしたあとに再会し、ジョイント・ライブも行う2人が語る

駒澤大学の学生時代、そして歌への情熱——。

## 名誉教授に聞く 世界の憲法比較から見た日本国憲法

にし おさむ  
西修 名誉教授

84%の国の憲法に  
平和主義条項がある

負けず嫌いであまのじゃく。これが私の性格で、研究でも同じです。憲法学を専攻して大学院に進んだところ、当時の研究は欧米諸国の憲法を対象に、判例学説の研究ばかり。これではおもしろくないと、それまでほとんど手がけられていなかったアジアやアフリカの憲法を調べてみようと思いついたのが世界の憲法比較を始めたきっかけです。

現在、世界に成文憲法は188ありますが、それを全部調べました。その結果わかったのは、日本は新憲法というけれど、もはや古い方から14番目で、特に1990年以降の20数年の間に100もの国で新憲法がつくられており、決して「新」憲法ではないということ。また、「日本国憲法は世界で唯一の平和憲法」とよく言われますが、それが「神話」でしかないことは、188カ国の憲法中84%にあたる158カ国の憲法に平和主義条項が設けられていることをみれば明らかです。

「この国のかたち」を構成する基本法の観点で

もう一つ力を注いできた分野が日本国憲法の成立過程の検証です。

1984年から、GHQ(連合国総司令部)で日本国憲法の原案を作成し

た当事者や、当時を知る関係者約50人にインタビューを重ねることも、日本の占領管理政策を決定した極東委員会の議事録を精読・分析しました。

こうして得た知見をもとに、日本国憲法のあるべき姿について、本質的な面から考えてみたい。たとえば「国家権力を縛る」憲法という側面のみが強調されがちですが、国家と国民を対立構造で捉えるのではなく、ともに力を合わせて「この国のかたち」を形成するために行動する協同関係と見るべきで、こうした観点から古今東西の憲法史と憲法観をもう一度整理してみたいと思っています。

37年の在職期間に  
貢献できたこと

在職は37年を数え、人生の半分は駒澤大学とともにありました。忘れてたい思い出は多く、ひとことでは言い尽くせませんが、やはり教職員のみなさんや学生諸君など多くの人とめぐり会えたことが最大の思い出です。

多少の貢献もできたかなと思いません。たとえば国際交流では、私が赴任した当時も留学生はいましたが、より親密にサポートできるよう、私のゼミを中心に国際交流研究会をつくらせて、一緒に旅行に行ったり、クリスマスパーティーをやったり、日本語を学ぶ手伝いをしたりして、現在の国際センターの先駆けになるような活動をして

いました。

当時駒大で共に教鞭をとっていた佐々木宏幹先生や福岡政行先生らと連名で公開講座開設の進言書を提出し、それが現在の公開講座の端緒となったのも、忘れたい思い出の一つです。また、ゼミで駒沢大学駅までの清掃奉仕活動を20年以上続け、現在全学的に行っている地域環境クリーン活動に引き継がれています。

世田谷名物に育った  
駒澤落語会

もう一つが落語会です。私は早稲田大学の落語研究会出身で、「またも家楽人」という高座名を持っています。2001年、落語を通じて地域との繋がりを広げようと大学に働きかけ、世田谷区や町内会などにも声をかけて大学内で駒澤落語会を開催したところ、これが大盛況となりました。その後も毎年1回のペースで落語会を開くようになつて退職するまでに全10回を数え、年を追うごとに大きくなり、世田谷名物にまで育ちました。

最後の落語会で名誉真打ちの称号をいただきました。今も講演に行ったりすると、講演後の懇親会でショート落語をやったりしています。脳の活性化にもなり、周囲をなごませる落語は、私にとって無二の存在です。



西修 名誉教授  
富山県生まれ。1970年早稲田大学大学院政治学研究科博士課程修了。政治学博士、法学博士。防衛大学校人文科学教室専任講師。助教授を経て1974年より駒澤大学教授に。2011年3月退職。同年6月名誉教授。専門は憲法、比較憲法学。日本国憲法に関する著書多数。



駒澤落語会の様子



軽音楽サークルでの出会いと  
駒澤の思い出

——お二人の出会いが？

**大澤** 中学・高校時代はギター抱えて一人でちんまりと歌っていたけど、駒澤大学に入学して音楽のサークルに入ろうとウロウロしていたら、見つけたのが軽音楽のサークル。そこでマリちゃんと会ったんだよね。

**平賀** 駒澤フォーク村愛好会という名前でした。あのころは充実していた。いろんなバンドをやっている人たちがいっぱいいて。

**大澤** 60人ぐらいのメンバーのうち、それぞれ気の合う人たちがひとかたまりになっていて、オレとかマリちゃんは洋楽のグループだった。

**平賀** 大澤くんたまたま歌を歌っていて、声をかけても全部歌で返ってきたよね(笑)。

——学生時代の思い出は？

**大澤** 当時は学生運動の名残りがあって、学園祭で演奏会を企画していたのに、ゲバ学生が「学園祭をぶっ潰す」とか言うから、演奏しなくて大学に泊まったことがあったらね。

**平賀** 野球が強かったね。

**大澤** 駒澤が優勝すると渋谷のハチ公前までうちのサークルもみんな行って、あのころ噴水があつて飛び込んだりした記憶がある。

**平賀** 噴水が出てないのに飛び込んで、パイプにお尻を刺して血だらけになっちゃって、救急車を呼んだこともあった。神宮からの帰りに、ハチ公前までみんなパレードするんですよ。青山通りの角にあるVANのビルに「駒大優勝おめでとう」という垂れ幕が下がっていて、紙吹雪がバアーッと降ってきて、もう、マックスよね。楽しかったアー！

他人に提供した曲が売れて、歌手としてデビューしたのは83年です。

大澤 誉志幸 **Yoshiyuki Osawa**

気心の知れた仲間たちと、ストレスフリーに音楽を続けたい。

**平賀** 私はOL時代、けっこうハイレベルのセミプロみたいなバンドで歌ってましたけど、たまたまマーサ三宅さんの勧めでアジア音楽祭に出場するチャンスが巡ってきました。仕事を休んでいても構わない。日本で1位になると日本代表として香港での本戦に行けるというので、香港に行きたいという軽い気持ちで受けたら1位になって、香港での本戦で金賞をいただきました。日本に帰ったら今度は、マーサ先生の勧めで六本木のジャズクラブのオーディションを受けて、その気になって1年ぐらいい、昼はOL、夜はクラブの二足のワラジで歌っていました。でも、そんな毎日ではやはり睡眠不足になり、これでは体を壊すと、OLを辞めて本格的にジャズの世界に入りました。

——プロになってからの付き合いは？

**大澤** マリちゃんがマリカという名前でプロデビューしたという話を聞いて、その後どうしているんだろうなと思って・・・。

平賀マリカ・プロフィール  
1977年駒澤短期大学英文科卒業後、文学部英米文学科編入。1981年 香港で開催された「アジア音楽祭」で金賞受賞後にプロデビュー。2007年より3年連続でスイングジャーナル誌主催「ジャズ・ディスク大賞ボーカル賞(国内部門)」を受賞。コンサートのほか、ラジオパーソナリティなど幅広く活躍。

<http://www.marica.co.jp/>



在学当時の平賀

それぞれが歩み始めた  
プロの道

——平賀さんがジャズに出会ったのは？

**平賀** あのころ、大学の中だけじゃなくて、外に行つてフュージョン系のバンドをやったり、他大学の学祭に出たり、活動を広げていくうちにアメリカの音楽が好きになってくると、活動も広がって思うようになったんです。そんな時、ある人から「アメリカ音楽を知るには、ジャズをやらなければだめだ」と言われて、「そうか!」と思って大澤くんが「ジャズを歌ってみたいけど、どこで習えないかな」と聞いたんです。すると「ジャズボーカル教室を知っている」と即答して



2014年2月23日  
六本木STB139スイートページルでのライブ

**平賀** それまでまったく連絡を取り合っていないのに、突然、大澤くんから電話がかかってくる。コーディングコーラスとツアーを付き合い合ってくれないかという話があったのよね。

**大澤** それが90年代の頭ぐらいかな。一緒にツアー回ったり、レコーディングを一緒にしたりしましたね。

**平賀** 大澤くんは「そして僕は遂方に暮れる」がメガヒットしてすごい話題になっていた。ですから大澤くんがテレビに出るたびに「この人は大学の同じサークルの友だち!」って、自慢していました(笑)。

大澤 誉志幸・プロフィール  
1976年文学部歴史学科入学。1981年「クラウドディー・スカイ」のボーカル&ギターとしてデビュー。解散ののち、楽曲提供を開始。83年にソロデビュー。「そして僕は遂方に暮れる」が大ヒットする。2013年にはソロデビュー30周年を記念して「渡り鳥ツアー」を展開。

<http://ohsawayoshiyuki.com/>



在学当時の大澤



同じ大学で学んだ者同士だからこそ通じ合うものがある。

平賀マリカ **Marica Hiraga**

くれたんです。すごいでしょ。  
**大澤** いつもの通り道に、ジャズボーカルのマーサ三宅の看板が出ていたので、軽い気持ちでそこへ行ってみたらと言ったんです。  
**平賀** 当時はインターネットで検索するすべもないし、とにかく中野のあの辺という大澤くんの言葉だけを頼りに探して、そこからジャズを習い始めました。でもプロになろうとは考えなかった。音楽で食べていくなんて到底無理だから、就職して音楽は趣味でやっていけばいいと思っていました。でも大澤くんは、在学中からプロフュージョナルになるという強い気持ちで、オーディションなんかも受けていたよね。

**大澤** 駒澤と早稲田の学生との混合メンバーの「クラウドディー・スカイ」というバンドでオーディションをいろいろ受けていました。プロデビューしたのは1981年。でも、半年後に解散の憂き目にあいました。一人になって、曲書きの仕事しながら、自分でカセットに録音して企業や音楽事務所に持っていくわけですが、ソロデビューする前に

私は地道にジャズクラブで歌うことが生業(なりわい)になっていて、同じ音楽界といっても彼は芸能界の人で、声もかけられないと思っていたのが、突然電話が来てものすごくうれしかったことを今でも覚えています。  
**同じ志を持った仲間たちとの  
出会いが最高の財産**

——平賀さんは50周年を迎えた駒澤の学生団体「軽音楽部ジャズ研究会」の指導もなさっているとか。

**平賀** 今から4年ぐらいい前、ニューオータニで毎年行われている大学の新年賀詞交歓会に、ぜひ駒大のジャズ研の学生と一緒に出てくれないかというお話をいただいたのがきっかけです。何度かリハーサルして、本番ではアンコールが来る、ぐらいいみなさん盛り上がりしてくれました。必要とされているという喜びとともに、同じ大学で学んだ者同士だからこそ通じ合う部分があつて、何か、温かいものを感じましたね。

——今後の抱負をお聞かせください。

**大澤** 若いうちは、戦わなければとか、頑張んなきゃとか、お尻を叩かれていた感じがありました。が、今はまわりのスピードに流されるのではなく、自分のスピードで本心に音楽を生きたいという感じがあります。気心の知れた仲間たちとストレスフリーに音楽を続けていきたいと思っています。

**平賀** まったく同感!私の場合、アルバムをつくるにしても、外国で録音するとか、常に新しいチャレンジをしてきたけれど、これからはもっと肩の力を抜いて、好きな音楽を求めてジャンルを超えてコラボしたり、日本の歌を取り入れたりしていきたいですね。大人になっても付き合える同じ志を持った仲間たちとの出会いが駒澤で得た最高の財産だと思います。



# 100キロ先の大気を追って 地球規模の環境変動を探る

日本人女性初の南極越冬隊員としてオーロラの観測に従事。  
現在はレーザー光を使って地上100キロも彼方の大気を調べ  
地球規模の環境の変化を探究している坂野井准教授。  
科学リテラシーを高める講義が人気だ。

総合教育研究部 自然科学部門  
**坂野井 和代** 准教授

静岡県生まれ。1995年東北大学理学部卒。2002年同大学院博士課程修了。理学博士。  
2005年駒澤大学専任講師、2009年より現職。同じ研究職の夫と二人三脚で子育て中。



## 地上100kmを調べてわかる 地球の大気の大きな繋がり

地表からの高度がだいたい30kmから100kmぐらいの中層大気の研究をしています。ここでは大規模な大気の流れが存在しており、直接出かけて観測することはできないので、光を使って温度や風速、大気の密度などを観測し、解析しています。

観測にあたっては、「ライダー」と呼ばれる観測機を使ってレーザー光を地上から発射します。レーザー光が大気の粒子に当たり、散乱によって戻ってきた光には大気についてのさまざまな情報が含まれているので、それを取り出して調べます。

中層大気については普通に観測するのは難しいため、まだわかっていないことが多いのですが、ここでの大気の動きは、異常気象や気候変動など地球規模の環境問題と密接に関わっている可能性があります。

す。大気は大きく繋がっていますから、地表面の変化が中層大気にまで影響したり、逆に中層大気の影響が地表に及ぶというのは十分に考えられることです。

それを実感した出来事がありました。南極にできるオゾンホールが一度、崩れたことがあったのです。専門用語では「成層圏突然昇温」といい、成層圏の気温が突然上昇する現象です。北極では非常にポピュラーな現象ですが、南極では少なくともここ50年ほどは起きたことがなかったのです。それが起きたときに南極だけでなく、北極にも影響があり、地球を覆う大気の大きな繋がりを感じたものです。

## 女性初の越冬隊員として 南極で1年半を過ごす

自然に対する興味は子どものころから強く、「山はなぜあんな形なのか」とか、「雲はどうしてあのように流れていくのか」と空を見上げては思っていました。

そのうち地球上で一番珍しい自然がある場所に行ってみたく考えるようになり、興味を持ったのが南極でした。

本気で南極に行こうと考えようになったのは高校生になってからで、東北大学理学部に行けば夢が叶うという情報を得て、とうと

う大学院の博士課程の1年生のとき、日本人女性初の南極越冬隊員に選ばれました。南極に滞在したのは1年半。総勢40人のうち女性は私を含め二人だけで、主にオーロラの観測を行いました。

## 北海道に設置したカメラで 薄明時に光る夜光雲の出現を待つ

現在は中層大気の観測とともに夜光雲の観測を行っています。夜光雲は高度82~84kmという極端に高い高度で発生し、通常、北極や南極など緯度が50度以上の場所で夏の薄明時に光る特殊な雲です。それが地球温暖化の影響で低緯度まで広がってきているとの報告があり、日本でも見える可能性があるため、北海道の母子里にある名古屋大学の観測所にカメラを設置して共同で研究しています。普段はリモートコントロールでデータが送られてきますが、年に1回は現地に行っています。



昭和基地で。右側が坂野井准教授

写真提供：国立極地研究所



南極で見たオーロラ的美しさに感動

# 消費者の購買行動や感性を 科学的視点から読む

消費者の購買行動をデータにもとづいて的確に読み解くのがマーケティングサイエンス。同時に、消費者の気分や、ワクワク・ドキドキ、五感といった感性や“あいまい”な意思決定をどのように分析し、企業の市場戦略に生かしていくかが注目されている。

経営学部  
**若山 大樹** 准教授

京都府生まれ。1997年東京理科大学理工学部卒。  
2003年筑波大学大学院社会学研究科計量ファイナンス・マネジメント専攻修了。博士（経営学）。  
秋田県立大学助教、駒澤大学専任講師を経て2010年より現職。



## 企業が抱えるピンチを チャンスに変える

今年4月から消費税が8%になりました。増税というのは本来なら商品を守る企業にとってはマイナスです。増税前は駆け込み需要で売り上げが伸びても、その後は買い控えが増えて企業にとってピンチになるからです。ところが、そんな中でも業績をアップさせているのが、しっかりとマーケティングを行っている企業です。

消費者が真に求めている製品やサービスとは何かを的確に把握し、企業活動に反映させるのがマーケティングです。ピンチをチャンスに変える、消費者と企業の両方の期待に応える学問だといえます。

消費税増税をめぐる研究室で取り組んでいるテーマの一つが、最低価格保証に対する消費者の意識と行動です。増税は家計を圧迫しますから、これまで以上に消費者は価格に敏感になります。そこで最低価格保証制度を導入する企業への注目も高まると考えられます。スーパーや家電量販店が、他社のチラシに記載された価格の方が安ければ、その価格で販売することを謳うケースですね。

すでに米国などでは盛んに行われている手法で、消費者は最低価格保証を採用しているというだけで、その店の商品がすべ

て安いイメージを持つようになり、購買意欲が高まるなどの報告もあり、日本でも研究が進んでいます。

しかし、実際に他店のチラシを提示しても条件に合わないと言われて不満を募らせたり、他人から見られる状況では日本の消費者はそういう行動を取りにくいなどの問題点も指摘されています。

## 白黒ハッキリの欧米人 “あいまい”さを好む日本人

私の研究室で「値切り行為」の印象を評価させたところ、日本の消費者はホンネの部分では「値切ってみよう」という人が多いという結果が出ました。

これをマーケティング的に見ると、値切る行為の阻害要因となっているのは「人から見られる」ということです。誰からも見られないように工夫するなど、具体的な配慮が必要だということが見えてきます。

欧米では、どちらかというと白黒をはっきりさせる考え方で消費者のモデルやマーケティング理論が既に構築されています。しかし、それをそのまま日本に持ってきても、あいまいな判断をしがちな日本人の場合はなかなか通用しないことも多いのです。

## 感性工学的アプローチを取り入れた マーケティングが重要に

さて、製品やサービスに対する消費者の見方が厳しくなると、消費者の「満足」「不満足」をいかに把握するかが非常に重要になってきます。しかし、顧客アンケートで「満足している」という答えが多いからといって、その原因をさかのぼって分析しておかないと、たちまち不満足に変わってしまうことになりかねません。また、不満を持っている人が多くとも、企業がターゲットとしている層でない場合は、対応する必要はありません。アンケートをどう設計し、どう読み解くかには注意が必要なのです。

同じように判断が難しいものに、ワクワク感とかドキドキ感といった感覚的なものもあります。このような、あいまいさとか感覚的なものをどのように測定・把握し、製品やサービスに応用するかを研究するのが「感性工学」で、今後ますます重要になっていくのではないかと考えています。



マーケティング最先端企業見学にて



## 廣瀬学長が北京大学歴史学系客座(客員)教授に

廣瀬良弘学長(文学部歴史学科教授)は、長年にわたり北京大学歴史学系副主任(副学部長)である王新生教授らを中心に同大学との学術交流を推進してきたが、2013年10月25日付で同大学歴史学系客座教授の称号を授与された。

**経済学部**  
**長山宗広教授**  
**日本経営学会賞(著書部門)受賞**  
 受賞作は『日本的スピノフ・ベンチャー創出論―新しい産業集積と実践コミュニティを事例とする実証研究―』(同友館2012年2月)。同書は平成24年度中小企業研究奨励賞・経済部門本賞も受賞している。



**経済学部**  
**瀬戸岡紘教授が**  
**世界政治経済学会で**  
**「政治経済学賞」受賞**  
 瀬戸岡紘教授が、2013年5月ブラジルで開催された世界政治経済学会において、政治経済学の発展に尽くした世界の研究者を褒賞する「2013年度政治経済学賞」を受賞。

**文学部社会学科**  
**李妍焱教授の著書が**  
**「第11回日本NPO学会賞優秀賞」を受賞**  
 受賞作『中国の市民社会―動き出す草の根NGO』(岩波新書)は、90年代以降、中国でも農村女性の教育・就労支援や環境調査などの分野で草の根NGOが活動し市民社会が創造されつつあることを明らかにした著作だ。



## 玉川キャンパス学食リニューアル『駒Dining』完成

(教育後援会ホール)

玉川キャンパスの学食「玉川ホール」を建て替え、新たな学食『駒Dining(コマダイニング)』が2014年4月8日にオープンした。『駒Dining』は2階建て2フロア合わせて332席。1階は食堂・厨房・自販機コーナーがあり、2階は、通常の食堂としての利用の他に、イベントにも利用できる空間となっている。



## 駒沢キャンパス耐震工事完了

学内建物の耐震化と安全対策を最優先に取り組んできたが、2014年1月の本部棟の耐震工事終了をもって、駒沢キャンパスの耐震工事が完了した。

**開校130周年**  
**記念棟建設へ**  
 本学では、全学生の学びの場となる駒沢キャンパスを、21世紀にふさわしい教育環境としてさらに充実させるための再開発計画を推進している。その第一弾となるのが「開校130周年記念棟」だ。記念棟は、延床面積24000㎡、現在の体育館から7号館側へ少し広がる形で建設される。本部棟のある北側は4階建て低層棟、南の公園側は9階建ての高層棟と2棟で構成され、1階は学生食堂、2〜9階は、さまざまな教室と多目的ホールとなる。2015年5月着工、完成は2017年12月の予定。



## 全国初の法科大学院 9月入学開始

全国の法科大学院に先駆けて、2013年度より9月入学制度を開始。



## 仏教学部 藤井淳講師の活動が「やまがた公益大賞」を受賞

受賞の対象となったのは、NPO法人子ども支援フェイスブックプロジェクトの活動の一環として、山形県で福島県等から避難している小・中学生を対象に学習支援などを行う「週末寺子屋〜子ども大学〜」の活動。



**法人諸学校の在學生・卒業生が**  
**ソチオリンピックで活躍**  
 2月7日〜23日にロシアのソチで開催された第22回オリンピック冬季競技大会で、苫小牧駒澤大学と駒澤大学附属苫小牧高等学校の在學生と卒業生、計10人が女子アイスホッケーとスピードスケート競技の試合に出場。

**駒澤大学附属苫小牧高等学校野球部**  
**第86回選抜高等学校野球大会**  
 9年ぶり3度目の出場  
 1回戦は創成館(長崎)と対戦し、3-0で勝利したが、2回戦は履正社(大阪)に6-17で惜敗。

**陸上競技部 二冠**  
**箱根駅伝総合2位**  
 (出雲駅伝、全日本大学駅伝3連覇)  
 2013年度の大学三冠駅伝。10月の第25回出雲駅伝は15年ぶり3度目の優勝を大会新記録で飾り、続く11月の第45回全日本大学駅伝は11度目の優勝で2度目の3連覇を達成。三冠の期待が高まる中で臨んだ第90回箱根駅伝は総合2位で、惜しくも三冠を逃した。



**学食で「100円朝食」スタート**  
 駒沢キャンパスの学生食堂で在學生を対象に2014年4月から100円朝食がスタート。



**東京消防庁から感謝状贈呈**  
 本学では、毎年7月に世田谷消防署の協力を得て、普通救命講習会を開催し、学生が心肺蘇生法や自動体外式除細動器(AED)の使用方法を学んでいる。この活動が評価され、2013年9月12日に感謝状を授与された。

**Jリーグへ**  
**3選手が**  
**新加入(サッカー部)**  
 サッカー部3選手がJリーグへ2014シーズンより新加入。山本大貴選手(ベガルタ仙台)、野村政孝選手(名古屋グランパス)、碓井鉄平選手(V・ファーレン長崎)。活躍が期待される。

## 2014年4月より新カリキュラムスタート

大学での学びをスムーズにスタートさせることを目的に、新カリキュラムがスタート。「自立的」で「主体的」な学習を身につけるための初年次教育を重視するとともに、教養教育科目として、人文、社会、自然分野に加え、将来を視野に入れたライフデザイン分野を設けた。

## グローバル・メディア・スタディーズ学部生有志が、アプリコンテストにおいてアイデア賞受賞

2013年9月に開催された「学生スマートフォンアプリコンテスト」(情報処理学会コンシューマ・デバイス&システム(CDS)研究会、モバイルコンピューティングとユビキタス通信(MBL)研究会主催)で、グローバル・メディア・スタディーズ学部の学生が作成した街なかを探検するアプリが「アイデア賞」を受賞。



## シドニーオリンピック 柔道-81kg級 金メダリストの瀧本誠氏が本学講師に

2000年のシドニーオリンピックで優勝、2004年〜2010年まで総合格闘技界で活躍した後、世田谷区ジュニアアカデミーなどで子どもたちの柔道指導にあたってきた瀧本誠氏が2014年4月より総合教育研究部講師に就任。専門はスポーツマネージメント。

## 大学院に8番目の研究科 「グローバル・メディア研究科」開設

2013年4月、メディアの最新動向に関する幅広い知識と実践的な英語力を有し、学際的なアプローチによってメディア研究を深め、社会経済のグローバル化に資する高度な専門的職業人の育成をめざす「グローバル・メディア研究科」を開設。



社会に飛び立つ駒大生 ~駒澤大学の就職状況レポート~

就職状況 2014年3月31日現在

※求職登録及び進路の届出をしていない者は除く

	仏教学部		文学部							経済学部			法学部			経営学部		医療健康科学部	GMS学部	合計
	禅	仏教	国文	英文	地理	歴史	社会	心理	経済	商	現応経	法律A	法律B	政治	経営	市戦				
就職希望者数*	45	83	125	117	87	154	137	61	324	191	135	267	85	219	291	159	45	235	2760	
就職決定者数	45	77	111	107	82	136	128	54	307	184	130	250	76	213	275	150	45	219	2589	
進学者数 (大学院・大学・留学)	5	5	3	6	6	12	0	10	3	2	2	10	2	3	6	3	8	11	97	
各種学校進学者数 (専門学校等)	0	1	2	0	0	6	0	2	1	0	2	2	8	2	5	1	0	2	34	
各種試験受験準備	1	4	11	4	5	16	0	4	17	8	1	31	3	11	14	3	1	6	140	

主な就職先 (2013年度卒業生)

学部	就職先
仏教学部	地理学科 名古屋東急ホテル 愛知トヨタ自動車 ロイヤルエンタープライズ スマートタウンソリューション イカリ消費 防衛省陸上自衛隊 地方公務員(警察) 本山安居
	仏教学科 JTB ベネッセスタイルケア JR東日本 サカイ引越センター 日立物流 タマホーム 柏崎信用金庫 防衛省陸上自衛隊 地方公務員(警察) 本山安居
	国文学科 日本年金機構 日本赤十字社 アパホテル パソナ 三菱東京UFJ銀行 京業銀行 富国生命 日本ユニコム 青山商事 イオンリテール 三越伊勢丹 ワコール ノーリツ クロスカンパニー 理想科学工業 教員 地方公務員(警察、消防)
	英米文学科 日本郵政グループ エイチ・アイ・エス 東急ホテルズ ホテル・ニューグランド 星野リゾートグループ スポーツクラブNAS パソナ JALナビ ANAエアポートサービス イオン みずほフィナンシャルグループ 東京スター銀行 野村證券 第一生命 日本生命 全日本空輸 JR西日本 住友林業 ユナイテッドアローズ GAPジャパン AOKI ロックフィールド ガリバーインターナショナル アニエスベーサンライズ ゼリア新薬工業 リンク・セオリー・ジャパン 大学職員 教員
	社会学科(社会学専攻) 三菱東京UFJ銀行 三井住友銀行 みずほフィナンシャルグループ 横浜信用金庫 JR東日本 大和ハウス工業 サッポロビール ヤマザキ・ナビスコ ボンパドウル
	社会学科(社会福祉学専攻) ベネッセスタイルケア IMS(イムス)グループ ニチイ学館 医療機関多数 福祉施設多数 トップツアーズ 京業銀行 東急カード 日本ハウズイング 地方公務員(行政)
	心理学科 横浜ベイホテル東急 星野リゾートグループ オリエンタルランド ベネッセスタイルケア 日本マクドナルド サイゼリヤ ビッグヨーサン 日本トイザラス
	商学 日本郵政グループ ロイヤルパークホテル エイチ・アイ・エス 日本年金機構 インテリジェンス ミキハウス 三菱東京UFJ銀行 みずほフィナンシャルグループ 東京都市銀行 東京シティ信用金庫 野村證券 大和証券 三菱UFJモルガン・スタンレー証券 日本生命 JR東日本 日鉄住金物流 積水ハウス ロフト 島忠 ベルーナ ソフトバンク スズキ LIXIL シチズンホールディングス 塩野義製薬 ノバルティスファーマ
	現代応用経済学科 日本郵政グループ JTB クラブツーリズム
	経済学部
政治学科 三井住友銀行 みずほフィナンシャルグループ 東京都市銀行 住友生命 明治安田生命 東京地下鉄 日鉄住金物流 大和ハウス工業 京王百貨店 三越伊勢丹 青山商事 ファミリーマート ワークスアプリケーションズ リンク・セオリー・ジャパン 中央出版 イトキン 紀伊國屋 教員 防衛省 地方公務員(行政、警察)	
経営学部	東京国税局 地方公務員(行政、警察、消防)
医療健康科学部	みずほフィナンシャルグループ 東京信用金庫 SMBC日興証券 大和ハウス工業 ニューヨーカー エフ・ディ・シー・フレンズ(4°C) AOKI 東急ストア サークルKサンクス 日本トイザラス セブン-イレブン・ジャパン パンダイナムコゲームス マイナビ LVMHウォッチ・ジュエリー・ジャパン 日本食研ホールディングス 地方公務員(行政)



年間求人社数 10,000件超  
約100もの就職支援講座  
伝統と多彩なプログラムが生む「就職力」

一人ひとりにじっくり向き合う  
“手づくり”の就職支援

本学には7学部16,000人の学生が在籍しているが、就職支援の柱として重視しているのは一人ひとりと向き合う個人面談だ。1対1でじっくりと話しながら、一緒に考えていく。そんな“手づくり”の就職支援が本学の特徴である。

キャリアセンターでは、予約不要・待ち時間ゼロでいつでも個別相談に応じられる体制をとっている。相談時間に制限はなく、個々人の状況に合わせて進路相談にあたるほか、3年次には就職を希望するすべての学生との集中個別面談を実施している。

大手出版社元編集長による個別の文章指導もっており、マスコミ業界を志す学生や、提出書類の添削を希望する学生が数多く利用している。

「駒沢」「ワンキャンパス」は  
学びにも就職にも有利な環境

全学部、全学生が4年間を一つのキャンパスで過ごすことも本学の就職力を支えている。出身地や学部、学年を超えた交流を通じて、さまざまな価値観に触れることで、企業が求める「人間力」を高めることができるのだ。

都心部へのアクセスが容易なことも魅力。採用試験に臨んだ後、相談のためキャリアセンターに立ち寄る学生も多い。

また、1年次から履修できる全学共通科目の中に「ライフデザイン分野」を平成26年度から開講。この授業を通して将来の働き方や人生設計を考えていく。さらにキャリア講座やインターンシップ、「しごと研究講座」などのプログラムを展開し、自分に合った職業を探す取り組みをバックアップしている。

キャリアセンターによる就職活動バックアップの数々

入学時から卒業するまで、全学生のキャリアアップを全面的に支援するのがキャリアセンター。特に3年次では、就職活動に必要な最新情報をいち早く伝える就職ガイダンスを適宜実施。就活集中セミナーとして、就活の初期から採用試験終盤まで、必要な情報を随時提供する100に及ぶ講座を開いている。

- 第1弾** ● 業界研究の仕方  
業界研究の方法、各業界の概要をわかりやすく解説する。
- 自己分析対策  
志望業界・企業の絞り込みや履歴書・エントリーシート・面接にあたって必要とされる自己分析を解説するセミナー。
- エントリーシート対策  
魅力あるエントリーシートの作成方法を解説する。
- グループディスカッション対策  
人物重視の採用が主流の中で増えているグループディスカッション、グループワーク試験のポイントを説明する。
- 第2弾** ● 面接対策  
入室の仕方、椅子の座り方から自己PRまで、実際に個別にビデオ撮影しながらアドバイスを行う。
- 第3弾** ● 個別相談  
第1弾から指導する就職支援コンサルタントが個別にアドバイスする。
- 第4弾** ● 就職活動最新情報  
就職活動が本格的に進む4年次に企業側の採用活動の最新情報を伝える。

ほかにもこれだけあるキャリアセンターの就職支援

- 企業研究会  
約60社の人事担当者を招いて開催する。駒大生を求めている企業と直接話ができるほか、企業の姿や働くことの意義、企業が求める人材などの話を聞くことができる。
- ミニガイダンス(前期・後期)  
坐禅のほか、就職活動の進め方、業界研究、マナー講座、就職活動体験報告会など、就職活動を行う上で知りたい・知っておきたい情報が得られる各種講座が充実している。
- OB・OG訪問会  
各業界で活躍するOB・OGに、それぞれの会社で働いて感じたことや企業・業界のことを話していただく。
- 文章講座  
作文に対応するための文章力向上を1対1の個別指導でサポートする。
- SPI対策講座/模擬試験  
採用テストのための模擬試験で自分の得意・不得意を把握し、その後の対策に役立てる。
- 公務員、教員採用試験対策講座  
数多くの実績を持つ大手予備校と連携し、公務員、教員志望者に対する支援として公務員入門講座、教員採用試験対策講座を学内で開講する。

本学の求人社数は年間約二万件超、学内説明会の参加企業は一千件に上る。開校から130年余、仏教の教えと禅の心を建学の理念とする本学で実践力を身につけた卒業生の活躍が各分野で評価され、本学の「就職力」に繋がっている。

今年1月10日に発行された『就職力で見抜く! 沈む大学 伸びる大学』(朝日新聞出版発行・木村誠著)の「就職率が上昇した大学ベスト100」でも、全国の大学で本学が第10位にランクされた。駒澤大学の就職力の源泉を探ってみると――





沿革

- 1592年 文禄元年 江戸駿河台吉祥寺境内に「学林」設立  
駒澤大学の前身である「学林」は、曹洞宗が禅の実践と仏教の研究、そして漢学の振興を目的として設立
- 1657年 明暦3年 吉祥寺駒込に移転。中国の名僧・陳道栄が「旃檀林」と命名
- 1882年 明治15年 麻布北日ヶ窪に校舎を新築して移転  
10月15日に校名を「曹洞宗大学林専門学本校」とする
- 1905年 明治38年 校名を「曹洞宗大学」と改称
- 1913年 大正2年 大学を現在の駒沢(旧東京府荏原郡駒澤村)の地に移転
- 1925年 大正14年 大学令による大学として認可、「駒澤大学」と改称
- 1949年 昭和24年 学制改革により新制大学に移行  
仏教学部、文学部、商経学部の3学部で再スタート
- 1964年 昭和39年 法学部を開設
- 1965年 昭和40年 商経学部を経済学部に名称変更
- 1969年 昭和44年 経営学部を開設
- 1982年 昭和57年 開校100周年
- 1992年 平成4年 「学林」設立以来400年を迎える
- 2003年 平成15年 医療健康科学部を開設
- 2004年 平成16年 大学院法曹養成研究科(法科大学院)を開設
- 2006年 平成18年 グローバル・メディア・スタディーズ学部を開設
- 2012年 平成24年 開校130周年
- 2013年 平成25年 駒沢移転100周年



曹洞宗大学林の学生たち

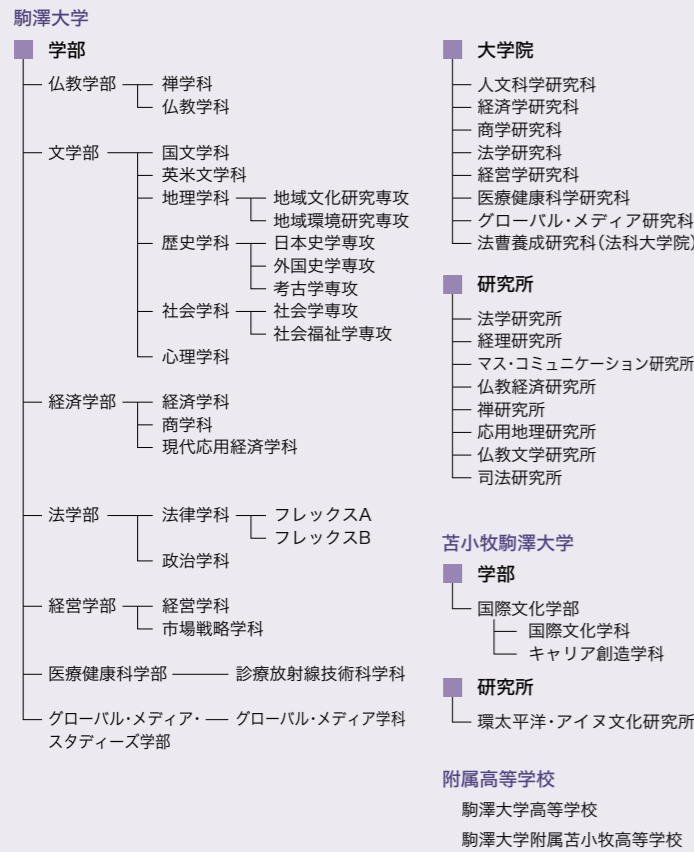


駒沢移転当時の大講堂



玉川キャンパスグラウンド

学校法人駒澤大学教育機構



「面と向かつて愛語を聞けば、聞いた人は表情がほころんで心が楽しくなる。人を介して間接的に聞いた場合は、その言葉は肝に銘じられて、魂にまで響く」と言われます。

「行学一如」と「信誠敬愛」、いずれも本学の教育と研究に欠かせない言葉であり、理念です。この二つを基本に、駒澤大学の人づくりに行つていきたいと考えています。

**どのようなときも主体性を持って活躍できる人材を育成**

科学技術がめざましく発展してきた現代ではありますが、進歩に伴ってさまざまな

「面と向かつて愛語を聞けば、聞いた人は表情がほころんで心が楽しくなる。人を介して間接的に聞いた場合は、その言葉は肝に銘じられて、魂にまで響く」と言われます。

「行学一如」と「信誠敬愛」、いずれも本学の教育と研究に欠かせない言葉であり、理念です。この二つを基本に、駒澤大学の人づくりに行つていきたいと考えています。

**アクティブに学ぶ「今」が大事**

「修証一等」を大学の理念として表した言

「面と向かつて愛語を聞けば、聞いた人は表情がほころんで心が楽しくなる。人を介して間接的に聞いた場合は、その言葉は肝に銘じられて、魂にまで響く」と言われます。

「行学一如」と「信誠敬愛」、いずれも本学の教育と研究に欠かせない言葉であり、理念です。この二つを基本に、駒澤大学の人づくりに行つていきたいと考えています。

**開校130周年を記念して 2017年完成予定で新棟を計画**

本学の今年度の取り組みとしては、「130周年記念棟」建設の本格的な準備があります。2017年12月の完成予定で、現在、鋭意、設計に入っているところです。9階(一部4階)建てで大小の講義室、最新

「面と向かつて愛語を聞けば、聞いた人は表情がほころんで心が楽しくなる。人を介して間接的に聞いた場合は、その言葉は肝に銘じられて、魂にまで響く」と言われます。

「行学一如」と「信誠敬愛」、いずれも本学の教育と研究に欠かせない言葉であり、理念です。この二つを基本に、駒澤大学の人づくりに行つていきたいと考えています。

**互いに信頼し、思いやる 「信誠敬愛」の大切さ**

建学の理念は「行学一如」ですが、実践徳目として「信誠敬愛」という言葉があります。「信」は相互信頼、「誠」は誠心誠意、「敬」はお互いに尊敬し合う、「愛」は仏教にある慈愛、思いやり、慈しみという意味です。そして、道元禅師の大切な言葉に「愛語」があります。愛語とは人に会ったときに慈悲の心を起こしていたわりの言葉をかけること

「面と向かつて愛語を聞けば、聞いた人は表情がほころんで心が楽しくなる。人を介して間接的に聞いた場合は、その言葉は肝に銘じられて、魂にまで響く」と言われます。

「行学一如」と「信誠敬愛」、いずれも本学の教育と研究に欠かせない言葉であり、理念です。この二つを基本に、駒澤大学の人づくりに行つていきたいと考えています。

**「学」とは一体であるということ**

「行学一如」というのは曹洞宗の開祖である道元禅師の「修証一等(修証一如)」という言葉に由来しています。「修(修行)」と「証

「面と向かつて愛語を聞けば、聞いた人は表情がほころんで心が楽しくなる。人を介して間接的に聞いた場合は、その言葉は肝に銘じられて、魂にまで響く」と言われます。

「行学一如」と「信誠敬愛」、いずれも本学の教育と研究に欠かせない言葉であり、理念です。この二つを基本に、駒澤大学の人づくりに行つていきたいと考えています。

**「学」とは一体であるということ**

「行学一如」というのは曹洞宗の開祖である道元禅師の「修証一等(修証一如)」という言葉に由来しています。「修(修行)」と「証

「面と向かつて愛語を聞けば、聞いた人は表情がほころんで心が楽しくなる。人を介して間接的に聞いた場合は、その言葉は肝に銘じられて、魂にまで響く」と言われます。

「行学一如」と「信誠敬愛」、いずれも本学の教育と研究に欠かせない言葉であり、理念です。この二つを基本に、駒澤大学の人づくりに行つていきたいと考えています。

**「学」とは一体であるということ**

「行学一如」というのは曹洞宗の開祖である道元禅師の「修証一等(修証一如)」という言葉に由来しています。「修(修行)」と「証

「面と向かつて愛語を聞けば、聞いた人は表情がほころんで心が楽しくなる。人を介して間接的に聞いた場合は、その言葉は肝に銘じられて、魂にまで響く」と言われます。

「行学一如」と「信誠敬愛」、いずれも本学の教育と研究に欠かせない言葉であり、理念です。この二つを基本に、駒澤大学の人づくりに行つていきたいと考えています。

**「学」とは一体であるということ**

「行学一如」というのは曹洞宗の開祖である道元禅師の「修証一等(修証一如)」という言葉に由来しています。「修(修行)」と「証



**[学長メッセージ]**

「行学一如」の精神で  
アクティブな  
学の実践をめざす

駒澤大学 学長 廣瀬良弘





〒154-8525 東京都世田谷区駒沢1-23-1  
TEL.(03)3418-9828 FAX.(03)3418-9017  
<http://www.komazawa-u.ac.jp/>

K O M A Z A W A  
U N I V E R S I T Y

*Link*

Link(リンク)とは「人と人の繋がり」「伝統を繋げる」「地域と繋がる」という意味が込められています。